

[022] 九州ドイツ文学表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/21882>

出版情報：九州ドイツ文学. 22, 2008-11-29. 九州大学独文学会
バージョン：
権利関係：



目 次

〔論文〕

- 〈自由に孕まれた矛盾〉のドラマトゥルギー
—シラー『ドン・カルロス』について—……………森 直 貴… 1
- 内なる自然の現れ
—ゲーテの『若きヴェルターへの悩み』について—……………木 田 綾 子… 23
- ゲーテ『ファウスト』における救済構造
—『色彩論』の「曇り」概念を手がかりとして— ……………平 松 智 久… 43
- トポス「水の精の物語」における妙音の饗宴
—アイヒェンドルフ文学をめぐって—……………小 黒 康 正… (1)

〔書評〕

- 根本道也著
『ドイツの標準語—その生い立ちと辞典の個性—』……………嶋 崎 啓… 57
- 大野寿子著
『黒い森のグリム—ドイツ的なフォークロア—』……………佐々木 博 康… 61
- 立花健吾・佐々木博康編『カフカ初期作品論集』……………村 上 浩 明… 65
- 尾張充典著『否定詩学—カフカの散文における
物語創造の意志と原理—』……………野 口 広 明… 69
- 総会・研究発表記録、会員名簿、その他…………… 75